## 【実施区域・面積】

埼玉県、0.0６４５ha

## 【生態系タイプ】

創出緑地

## 【実施区域の状況】

（公財）埼玉県生態系保護協会や（公財）日本生態系協会指導のもと、工場内の旧排水処理施設の池を活用し希少動植物の保全の場として再利用している。原水は井水を使用。

## 【目標】

継続的に荒川流域で今後生息が困難と思われる希少種の保護を行いビオトープ内で繁殖させる。行政や専門家からの依頼があれば同じ生息域に限り放流（野生復帰）も行う。

## 【主な活動内容】

希少生物や希少植物の保護の推進、生物が多く住めるビオトープの環境整備を実施。

具体的には、水生植物の間引き、特定外来種の駆除、草地の刈込を行う。

## 【モニタリング計画】

①希少生物のモニタリング（年1回）※2023年にはかいぼりを実施

②希少植物のモニタリング（月1回、春～秋）

③地上生物（昆虫等）のモニタリング（年1回）

## 【実施体制】

①希少生物の監視・・・　・・・テクセンドフォトマスク（株）にて実施

②希少植物のモニタリング・・・TOPPAN（株）にて実施

③地上生物（昆虫等）のモニタリング・・・テクセンドフォトマスク（株）にて実施

**実施区域の分かる写真：ビオトープエリア**



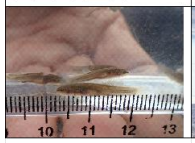
ビオトープは4つのゾーンに分かれている

**活動の様子：かいぼり（2023年）**



埼玉県債体系保護協会主催、TOPPANグループの社員とその家族にて生物のモニタリングを実施

**保全対象生物**

| 魚類 | | 甲殻類 |
|---|---|---|
| ホトケドジョウ | キンブナ | ヌカエビ |
|  |  |  |

| 植物 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ハンゲショウ | ノカラマツ | タコノアシ | ノウルシ | ﾅﾊﾞﾎﾞﾉｼﾛﾜﾚﾓｺｳ | フジバカモ | ホソバオグルマ |
|  |  |  |  |  |  |  |

※添付2参照

## 【計画期間】

2025年9月～2030年8月